

～ 第 2 回 第 6 次留萌市総合計画策定市民会議 ～

【開催概要】

- 平成 28 年 5 月 13 日（金） 15:00～16:50
- 留萌市役所 3 階 市議会第 2 委員会室

【出席委員】

座長	伊 端 隆 康	委員	高 橋 理 佳	(委員 7 名)
副座長	大 館 哲 也	委員	田 村 裕 樹	
副座長	田 中 美智子	委員	中 井 津 尉 子	
委員	串 橋 伸 幸			

【事務局】

地域振興部長	中 村 秀 寿	政策調整課主幹	佐々木 仁 彦
政策調整課長	高 橋 一 浩	政策調整課主査	江 川 雅 信

【協議及び意見交換事項】

- ① 策定スケジュールについて
- ② 第 5 次留萌市総合計画の検証について(前回資料 7 参照)
- ③ 第 6 次留萌市総合計画の基本テーマ・基本理念について

【内容】

- ① 策定スケジュールについて
 - 資料 1 により事務局より説明
 - 〔意見・確認等〕
 - ・ 様々な人の意見を聞いていく
- ② 第 5 次留萌市総合計画の検証について
 - 資料 2・資料 3 について、事務局より説明
 - 〔意見・確認等〕
 - ア. 基本テーマ、基本理念、6 つの彩
 - ・ 現実的ではない。
 - ・ もっとわかりやすく。
 - ・ 市民に対し分かりやすくメッセージ性をもって決めていく。
 - イ. やる気と活気
 - ・ 評価は、市職員の当事者意識の欠如。市民目線の目標と評価が必要。
 - ・ 10 年間の計画であっても、計画自体の見直しが必要。
 - ・ 目標を高くする必要が無いものもある。現状維持、不要な目標もある。
 - ・ 5 次計画の成果が出たので、目標値設定も検討しなければならない。
 - ・ 中心市街地を描いていかなければならない。
 - ウ. 思いやりと安心
 - ・ 市民目線での目標設定。
 - ・ 必要な人に、必要な情報発信が重要。
 - エ. 自然と資源
 - ・ 産業従事者等のヒアリングが必要。
 - ・ 行政は、支える、後押しすることに徹するべき。
 - オ. 暮らしと安全
 - ・ 市役所がしっかり取り組めばすむ項目。
 - ・ 市民会議では基本構想を決め、細かな施策区分まで入れるかは、行政が判断。

カ. 夢と宝

- ・ 企業も厳しいが、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要（復職など）。
- ・ 指定管理者や行政がやっていることが伝わっていない。
- ・ 何を指そうとしているのか、目標を明確にしなければならない。
- ・ 市民が実施しようとすることに、行政がバックアップする仕組み。

キ. 海と港

- ・ 港が栄えることで、関連産業も潤う仕組みだが、現状は難しい。
- ・ マチ中の土地の利活用を失敗してはいけない。
- ・ 北海道舗合板跡地の有効利用。

ク. 対話と信頼

- ・ 全て市役所がしっかりやればいいだけのこと。

ケ. 総括

- ・ テーマや理念をつくる時には、現実的な目線、市民目線で、具体的なものに。
- ・ メッセージ性がある、分かりやすいものに。
- ・ 高すぎる目標は下げる、成果指標として不必要なものは取除く。

③ 第6次留萌市総合計画の基本テーマ・基本理念について

○ 資料4を説明

〔意見・確認等〕

- ・ 基本テーマ、基本理念については、持ち帰り検討し、次回報告。
- ・ 市民憲章が分かりやすいので参考に。

【次回会議】

- 5月31日（火）午後3時から